

**問** 妊婦検診について厚生労働省は、5回無料を全国基準とする方針を決定した。家計や母体、胎児のためにも5回に拡充する考えは。



マタニティマークとキーホルダー

**答** 2回の検診費用の助成を今後も継続していく。5回については、検討していく。

**問** 全国共通のマタニティマークの認識度は。さらなる普及促進と市民への意識促進についての今後の考えは。

**答** 1月より母子手帳交付時に、マタニティキーホルダーを渡し63%の希望があった。今後、ポスター等による市民周知、及び、啓発を図ると共に、取り組みを検討していく。

**問** 妊娠時期は、母体の変化に伴う生活環境や精神的なことで影響を受けやすい時期、母親の負担軽減と父親の子育てを応援する父子手帳を作成し、希望者に配布すべきと考えるが、見解は。

**答** 父子手帳を配布している自治体があることは承知している。今後も父子手帳を新たに発行するのではなく、母子手帳を父親にも活用してもらうよう交付や検診の機会を通して取り組む。

**子育てに配慮した施設整備**

**問** 子供との外出に非常に不便なことは、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」と次世代育成に関するニース調査では、第1位にあげられている。行動計画策定から2年が経過した、現在の対応状況は。今後の予定と取り組みについての考えは。

**答** 公共施設における設置は子供用便座2、小便器1、授乳の申出対応可能が3、オムツ替えシート3、オムツ替え申出対応可能3、ベビーベッド3が現在の状況。平成20年度にハイランドふらのに1施設整備予定。出来るものから整備を推進し、充実を図る。

**答** 公共施設における設置は子供用便座2、小便器1、授乳の申出対応可能が3、オムツ替えシート3、オムツ替え申出対応可能3、ベビーベッド3が現在の状況。平成20年度にハイランドふらのに1施設

**答** 公共施設における設置は子供用便座2、小便器1、授乳の申出対応可能が3、オムツ替えシート3、オムツ替え申出対応可能3、ベビーベッド3が現在の状況。平成20年度にハイランドふらのに1施設

**答** 公共施設における設置は子供用便座2、小便器1、授乳の申出対応可能が3、オムツ替えシート3、オムツ替え申出対応可能3、ベビーベッド3が現在の状況。平成20年度にハイランドふらのに1施設

## 菊地 敏紀 「民主クラブ」

**第二次農業計画は**

**問** 第二次農業計画は、富良野農業の目指す方向や取り組みについて、平成11年に策定され、この農業計画を基に、富良野農業の確かな未来を目指して多くの事業を推進して来たが、①実施計画の進捗状況と課題。②農業政策を推進する中の課題は何か。③その課題の要因は何か。

**答** ①消費者意識の変化と農業環境の変化。課題を踏まえて実現に向けて取り組んで

**答** ①消費者意識の変化と農業環境の変化。課題を踏まえて実現に向けて取り組んで



解体が進む旧協会病院

**新たなまちづくりは**

**問** 「まちづくり三法」が改定され、それに合わせて富良野市も新たな「まちづくり」

**答** ①人々が暮らしやすい賑わいのあるコンパクトなまちづくりを進める。②事業計画作成の中心的役割を担う組織であり、基本計画の認定に向け任務分担と連携により取り組む。③市街地の機能の増進と地域の活性化が重要と認識し、協議会と連携し、年度内に基本計画を策定する。④事業開発のノウハウと資力を活用し、公募方式で、導入を行う。⑤後期実施計画との整合、財政健全化計画との調整を図る。⑥現状認識を適正に捉え、協議会と連携、任務分担し年度内に策定する。

**答** ①人々が暮らしやすい賑わいのあるコンパクトなまちづくりを進める。②事業計画作成の中心的役割を担う組織であり、基本計画の認定に向け任務分担と連携により取り組む。③市街地の機能の増進と地域の活性化が重要と認識し、協議会と連携し、年度内に基本計画を策定する。④事業開発のノウハウと資力を活用し、公募方式で、導入を行う。⑤後期実施計画との整合、財政健全化計画との調整を図る。⑥現状認識を適正に捉え、協議会と連携、任務分担し年度内に策定する。